

団地生活の安全・安心・快適をサポートします



2016 SUMMER



夏だ！ キャンプを楽しもう！

JSは  
UR都市機構  
のグループ企業です

発行：2016年8月

発行者：日本総合住生活株式会社

企画・制作：国吉印刷株式会社

お問い合わせ：日本総合住生活株式会社 広報課 ☎101-0054 東京都千代田区神田錦町1-9 TEL 03-3294-3381(㈹)

非売品／禁転載

# 万が一の水漏れ事故や、 突然の災害にも、「安心」をサポート

日本総合住生活株式会社では、損害保険の代理店業務を行っております。

取り扱っております損害保険は、火災はもちろん、水漏れなどによる賠償事故も補償され、集合住宅での「安心」をサポートいたします。

## ■お取扱保険商品の例



▼三井住友海上の「リビングFIT」については  
九州エリアではお取り扱いしておりませんので  
ご了承ください。  
ご相談・お問い合わせはお気軽に  
下記連絡先にお電話ください。



## 代理店名・各種ご相談、お問い合わせ窓口

損害保険代理店  
日本総合住生活株式会社

- ▶首都圏エリア TEL 0120-377-086
- ▶近畿エリア TEL 06-4300-3953
- ▶中京エリア TEL 052-350-2810
- ▶九州エリア TEL 0120-390-118

JS 日本総合住生活 株式会社

# 夏だ！キャンプを楽しもう！



## 手軽に、 低予算で楽しめる ファミリー キャンプ

8月11日は、「山の日」です。2016年から始まる新しい国民の祝日で、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」として制定されました。そこで、本特集では、「山に親しむ」絶好のレジャーとして、キャンプを取り上げます。

キャンプの魅力といえば、やはり雄大な自然にじかに触れながら、アウトドア・スポーツや料理などを楽しめることがですが、ホテルなどでの宿泊を前提とした一般的な旅行に比べて、比較的低予算で済ませることができるのも、魅力の一つです。例えば、クルマを使ったオートキャンプであれば、移動に掛かる費用は何人乗っても同じですし、オートキャンプサイト（自動車で乗り入れられるキャンプ場）もクルマ1台単位でのサイト使用料が基本なので、家族4人でのレジャーなら、人数分の交通費や宿泊費が掛かる一般的な旅行よりも手頃です。

### 準備編

今年初めてキャンプをやってみようという方なら、最低限、次のものが必要です。

寝袋／調理器具／照明器具／イスとテーブル

### ▼寝袋

シユラフとも言います。夏であっても、キャンプ場の夜は冷えます。高原などではなおさらです。寝袋にも、夏のキャンプに適したものだけでなく、冬山などの本格登山に適したものなどもあります。夏キャンプ用であれば、数千円程度で買えるものもあります。また、意外に重要なのがマットです。マットは直接地面に設置しておらず、芝のサイトであっても、地面の感触がじかに伝わってくるものと考えたほうがよいでしょう。ですから、寝袋だけでは地面のごつごつ感が伝わりやすくなります。そこで、マットを用意しておけば、さらに快適に眠ることができます。

### ▼調理器具／食器類

キャンプでは、屋外での料理や食事

Takashimadaira danchi

高島平団地

SINCE 1972



MUJI×UR モデルルーム



ゆいま～る高島平フロント

これまでも、これからも。  
家族の笑顔を育む街であり続けること。



東京都板橋区高島平2 ほか  
★都営三田線「高島平」駅 徒歩1分  
☆都営三田線「新高島平」駅 徒歩1分

1972年、一つの理想が街となつた——『高島平団地』。当時の最新技術を駆使して建てられた高層棟（11～14階建て）を中心の団地づくりは、中層団地主流の時代に大きな話題を呼んだ。近未来を感じさせる圧巻の光景は、東洋一のマンモス団地と称され、感度の高い人々の憧れになつた。それから約40年。時代の移り変わりに伴つて、この街にも新しい「顔」が生まれている。高齢者が安心して住まうことでのサービスを提供していくたり、若い世代に向けて、「MUJI×UR 団地リノベーションプロジェクト」を始動し、新コンセプトの賃貸住宅を提案したり。高島平団地は、多様な世代に対応するためにはまだ進化を続けている。



